

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-5 環境保全の推進
---------	--------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 環境政策課長 小池誠 電話番号 0852-22-5345

事務事業の名称	環境保全企画推進費		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	県民一人ひとりの環境保全に対する意識を醸成し、環境保全活動への各主体の参加を促進する。	
事業概要	県民、事業者、NPO等の団体、行政が一体となって、地域における環境保全や地球温暖化対策に取り組むとともに、環境への負荷の少ない社会の実現を目指すため、以下のとおり「島根県環境審議会」及び「しまね環境基金」を設置運営するとともに、各種啓発事業を実施する。 1、環境審議会の運営 2、環境基金の運営 3、普及啓発費①環境白書の発行②電気自動車急速充電器管理費③見える化を取り入れた環境保全普及		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	環境政策課ホームページ外部アクセス数	目標値	425,000.0	435,000.0	445,000.0	455,000.0	回
	式・定義	環境政策課ホームページ外部アクセス数	取組目標値					
			実績値	447,280.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
			実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	11,723	12,590
うち一般財源 (千円)	5,560	7,089

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	(未選択)
---------------------	-------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

環境月間や宍道湖中海ラムサル条約10周年記念などを活用して広報、普及啓発活動を実施した結果、ホームページアクセス件数は前年度比約4.5%増加した。

6. 成果があったこと (改善されたこと)

昨年度は宍道湖・中海ラムサル条約登録10周年であったことから、宍道湖中海対策室のホームページアクセス件数は約18.3%増加した。
(105,725件→125,062件)

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

宍道湖・中海ラムサル条約締結10周年という要因のためアクセス件数は伸びたが、この要因解消後ににおいてもさらに増加させていくこと。

②困っている状況が発生している「原因」

平成27年度は宍道湖・中海ラムサル条約10周年という特殊要因があったため。

③原因を解消するための「課題」

時代のニーズに合ったホームページの作成など、より一層の内容の充実を図ること。

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むかの考え方)

普及啓発については、一層関心をもってもらえるように、わかりやすく、迅速な情報提供を進めていく。
環境政策課のイメージキャラクターのスマートライフマンを活用するなど、県民にわかりやすい情報発信になるよう、効果的なホームページサイトの充実を図る。

9. 追加評価 (任意記載)

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。